

## バラシングキット取付方法

発射時のショックで緩まない様にダブルナット仕様になっております  
好みにオモリの数を調整しダブルナットでしっかりと締めてください



※1オモリ側を最初に締め

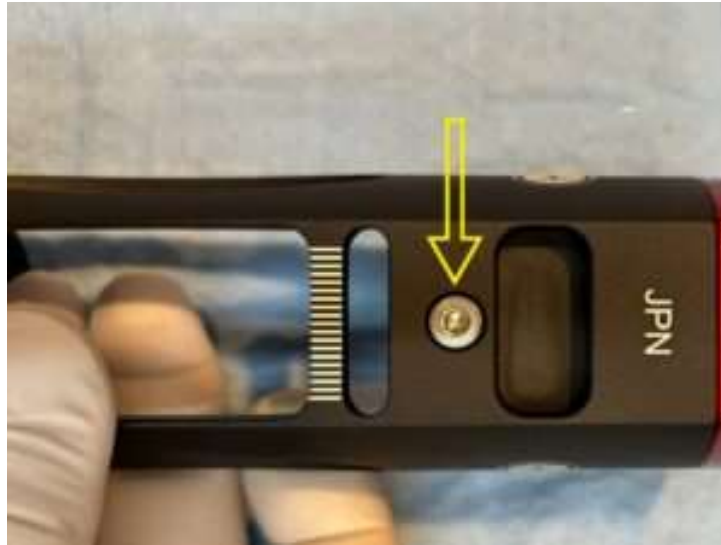


※2その後もう一つ追加してそれもしっかりと締めてください



TSK に挿入する際には、最初に付属していたディスクと O リングを外し、その場所にバラシングキットを図のように挿入します。

この際に O リングがオモリと TSK 本体の内側に挟まりスムーズに入らない事がありますので付属のレンチ(レモン色)などを使用し O リング全体をしっかりと押し込んでください



バラシングキットを挿入する時には黄色い矢印で記したボルトを必ず緩めてから挿入してください。

緩めないとOリングが引っかかり挿入できません。

コムを支えるピンに一部が重なる場合がありますのでその際にはピンも外してから作業を行ってください。

このネジはパイプのガイドラインの役目を果たしています(ネジが無いとパイプが異常可動します)ので無くさないように気を付けてください。

また作業が終了したら必ずしっかり締めておくことを忘れないでください。



正しく挿入されると写真のような状態に収まります

↓ この写真は構造を分かりやすく説明したものです



Oリングの位置はここ

パイプをかぶせていき  
最終形である右図にします

本体内でこの状態  
になれば完成です

パイプの装着が完了しプルレングスを調整したら完成です

この部品の取付で所持許可証の記載事項の変更  
はありません